

学年	教科等	単元名	日時
第4学年	外国語活動	This is my favorite place. お気に入りの場所を紹介しよう	令和2年1月31日(金)

「深い学び」のある授業を創造するために、下記の手立てを取りました。

### ○ 相手意識を醸成するための表現づくりの工夫

- ・ お気に入りの場所までの道順や、その場所を選んだ理由について、自分の表現だけでなく、級友の表現も考えるようにする。
  - 級友が伝えたいことに関心をもち、質問やアドバイス等を行い、みんなに伝わるように、より工夫しようとするのではないか。
  - 試しに伝え合う、班の仲間と表現づくりをする、リハーサルをする、ペアの相手を変えて伝え合う、という流れで、試行錯誤して繰り返し表現させる。そのなかで、話し手として自信を高めたり、「その英語、使いたいな」「おかげで自分の言いたいことに合ってきた」等の仲間との表現づくりの価値に気付いたりして、「気に入っている理由が伝わってくるな」「確かに素敵だな」等、話し手の思いを受け取ろうとする聞き手になっていくのではないか。

### ○ 表現力の高まりを実感させるためのふりかえりの工夫

- ・ 本時は単元のゴールの時間であるため、本時や単元全体をとおして、自分や級友のよさをふりかえることができるようにする。
  - 代表ペアのやり取りを視聴し、よいところを見つけて学級全体で共有させることで、「自分や班の人も代表の人みたいにできていたな」といった、自分だけでは気付けなかった自他のよさに気づき、自信を高めることができるのではないか。

## 子どもの姿

### ○ めあてをたてる場面

- ・ 「4年近く一緒に学校で過ごしていても友達のお気に入りの場所は知らない」ことから、「伝え合ったらお互いのことをもっと知ることができる」「気が合いそう」「もっと仲良くなれそう」という思いをもっていた（写真参照）。

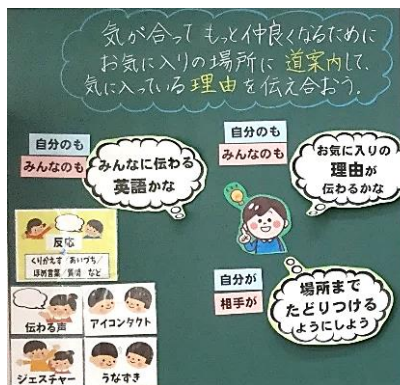
### ○ ペアでやり取りをする場面（最終リハーサル・本番）

- ・ 自分で英語に言い換えたり、友達のアドバイスを受け入れて英語にしたりする姿があった。
- ・ 分からないところを質問したり、それに答えたりする姿があった。
- ・ ペアが変わっても英語が増えたり、変わったりすることなく同じ英語をずっと使っている姿があった。
- ・ 間違った英語を使ったり、日本語を使ったりする姿があった。
- ・ 「その理由いいな。」というつぶやきや、「みんなのお気に入りの場所や理由が知れてよかった」という記述があった。

### ○ 代表ペアのやり取りを視聴して気付いた「よいところ」を共有する場面では、次のような発表があった。

- ・ 相手の喜ぶ反応を返していた。
- ・ 相手の言葉を繰り返していた。
- ・ 最初から最後まで英語を言っていた。

「みんなに分かる英語だったか」「お気に入りの理由が伝わったか」については、子どもから出なかったので教師から問いかけた。



like / like-very much / loveの中からloveを選んでいる。

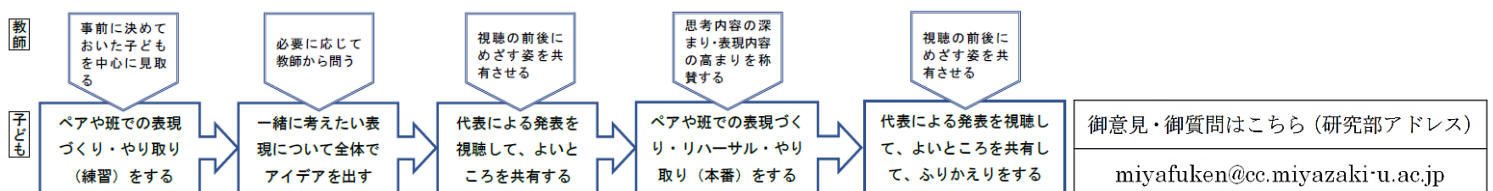
### 相手意識につながると思われる感想

- みんな同じ理由がなくて、わくわくでおもしろかった。
- 班が同じ私たちが教え、考えてあげたらKさんが言えるようになったので嬉しかった。
- 今までの人が手伝ってくれたおかげで、最初よりよい道案内になった。
- 少しまちがえたけど、ペアの人が教えてくれたので嬉しかった。
- 友達との仲が深まった。

## 実践をふりかえって

「どのような手立てを取れば、一人一人が自信をもつことができるか」と「子どもが話す英語の量をいかに増やすか」の兼ね合いを考えていく必要があると改めて感じた。一人一人の子どもが、自信をもって英語を使ってコミュニケーションを楽しむ姿を見せられるようにしていきたい。また、「表現力が高まっている姿」は、「英語が増えたり、英語が変わったりする姿」と同義であるのかについても考えていきたい。

また、ふりかえりの前に代表ペアのよいところを共有したが、終末のみではなく、活動の途中で入れるとよかったという意見もあった。表現力の高まりを子ども自身や教師が実感できるように、見取る方法や学習プリントの形式、フィードバックの在り方について考えていきたい。以下の図は分科会等での意見を参考に再考した流れである。



# 授業実践計画

## ○ 単元指導計画（4時間）

段階	主な学習活動及び学習内容	教師のかかわり	具体的な評価規準
生み出す(1)	<p>1 学校にはどのような場所があるか、何のための場所かを確認し、「お気に入りの場所紹介」という単元のゴールイメージをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道案内をするときに使う英語の語句や表現に出合う。</li> <li>○ 教師のお気に入りの場所までの道案内を聞いてゴールイメージをもつ。</li> <li>○ 道案内をするときに使う英語を使ったゲームを楽しむ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>おもしろそう。どこにしよう。ちゃんと道案内ができるかな。どこが人気なのだろう。場所を英語で言うのが難しそうだな。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師が例を示す際に、これまでに出てきた英語や親しみのある外来語、ジェスチャーを使うことで、「内容が想像できるな」「自分にもできそうだ」という思いをもつことができるようにする。</li> <li>○ 4年近く通っている学校や付き合いのある級友であるが、特に気に入っている場所について伝え合うことで新たな気付きがあることを確認し、伝え合う意欲や期待感を高められるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元のゴールイメージをもち、道案内をしたり、場所を伝え合ったりするときを使う英語を使ったゲームを楽しんでいる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(態度)</p> <p style="text-align: right;">【行動観察・記述分析】</p>
挑む(2)	<p>2 お気に入りの場所を伝え合うときに使う英語の語句や表現に慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道案内をするときに使う英語を使ったゲームを楽しむ。</li> <li>○ 学校の1階、2階、3階の図面を使って道案内する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>いくつかの場所が英語で言えるようになってきた。まだ自信がないものもある。右と左がどちらか分からなくなるな。だんだん慣れてきたぞ。間違っても楽しいな。お気に入りの場所の候補が決まってきたぞ。</p> </div> <p>3 次時の単元のゴールに向けて表現づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分が選んだお気に入りの場所に、同じ階の別の場所から道案内する。(例えば、2階のコンピュータ室がお気に入りの場所なら、同じ2階の4の1教室からスタートする。)</li> <li>○ 班の仲間と表現づくりをする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>場所をどこにするか決めただ。理由は「給食が好きだから」にしよう。他の人はどこを選んだのだろう。理由は何か。どうやって言うのかな。その理由を言いたいなら、この英語を使ったらどうかな。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1回リハーサル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 動画に合わせて校内を案内したり、教室内に隠したものの場所まで案内するなどのゲームをしたりする。このなかで繰り返し聞き、まねして発音させることで、お気に入りの場所について伝え合うときに使う英語に慣れ親しむことができるようにする。</li> <li>○ 既習単元で「好きな時間と理由」を伝え合ったときのことを想起させたり、教師の例を聞いた後に「その場所に対する思い」が伝わったか全体で確認したりする。そうすることで、お気に入りの理由を伝え合うときにどのような英語を使うかについての思考が働き始めるようにする。</li> <li>○ ペアで試しに伝え合った後に、班に分かれて表現づくりをする。複数回やり取りをさせたり、最初のペアで再度伝え合わせたりすることで、自他の変容に気付きながら、英語等を使って伝え合う心地よさや達成感、自他の表現力の高まりを感じることができるようになる。</li> <li>○ 以下のような姿を称賛することで、本番に向けてより自信をもち、自他の表現内容を伝わりやすいものにしてしようとする意欲が高まるようにする。             <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ お気に入りの場所について相手に伝わる工夫                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなに分かる英語を使う姿</li> <li>・ ジェスチャーやアイコンタクト等の非言語を使う姿</li> </ul> </li> <li>○ 話し手と聞き手が支え合う姿                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語が分からないときに教える姿 等</li> </ul> </li> </ul> </div> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道案内をしたり、場所を伝え合ったりするときを使う英語を集中して聞いたり、ゲームやチャッツで繰り返し発音したりしている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(知・技)</p> <p style="text-align: right;">【行動観察・記述分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分や仲間の表現について、道案内の仕方やお気に入りの理由が伝わりやすくなるように工夫している。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(思・判・表)</p> <p style="text-align: right;">【行動観察・記述分析】</p>
生本時す(1)	<p>4 単元のゴール「お気に入りの場所をしようかいしよう」に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最終リハーサル</li> <li>○ 本番</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>私のお気に入りの場所もおすすめだけど、○○さんが言った場所も確かにいいな。今まではそう思わなかったな。同じ場所で嬉しいな。場所は同じだけど理由が違うのがおもしろいな。今度はお気に入りの○○を尋ねてみたいな。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の表現づくりで仲間と教え合ったり、仲間に相談したりした様子を想起させ、称賛することで、「前の学習が今日の本番でも生かせそうだ」という安心感や見通しをもつことができるようにする。</li> <li>○ 代表のやり取りを見て、本時や本単元でめざす姿とはどのような姿なのかを全員に共有させることで、これまでの自分や級友の姿と照らし合わせながらふりかえることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相手に伝わるかを考えながら既習の英語や外来語等を選び、道案内をしたり、お気に入りの場所やその理由を伝え合ったりしようとしている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(態度)</p> <p style="text-align: right;">【行動観察・記述分析】</p>

○ 本時の目標

相手に伝わるように工夫しながら、自分のお気に入りの場所に道案内したり、その場所を気に入っている理由を伝え合おうとしたりする。

○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 「お気に入りの場所に道案内し、気に入っている理由を伝え合う」という活動をする「目的」、「場面や状況」を確認し、本時のめあてを設定する。</p> <p><b>目的:</b> お気に入りの場所やその理由を伝え合い、互いのことをより知るため。</p> <p><b>場面や状況:</b> 前時に考えた表現内容を基に、単元のゴールである本時で伝え合う。</p> <p>○ 本時のめあて</p> <p>おたがいのことをもっとよく知るために、お気に入りの場所に道案内して、気に入っている理由を伝え合おう。</p> <p>2 教師のやり取りを視聴し、前時に仲間と考えた「お気に入りの場所紹介」の表現内容を想起する。</p> <p>○ やり取り例 (学習活動3参照)</p> <p>3 ペアをつくり、相手に伝わるように工夫しながら自分のお気に入りの場所やその理由を伝え合う。</p> <p>○ 最終リハーサル</p> <p>○ 本番</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取り例</li> </ul> <p>A: Hello, B. How are you?          B: I'm fine. And you?          A: I'm happy. Can I go first?          B: Sure.          A: We are at 2-1 class room.          Turn left. Go straight. Go straight.          This is my favorite place.          B: The cooking room?          A: Yes, that's right.          B: Why?          A: Because I love school lunch. I like miso soup very much.          What food do you like?          B: I like <i>oyako-don</i>.          A: Nice! Me too. It's your turn.          B: OK. We are at . . . .          . . . .          A: Nice talking to you.          B: Nice talking to you, too.</p> <p>4 代表ペアのやり取りを視聴し、よいところを発表する。</p> <p>○ お気に入りの場所について相手に伝わる工夫</p> <p>○ 話し手と聞き手が支え合う姿 等</p> <p>5 本時の学習をふりかえる。</p> <p>○ 本時や単元全体をとおしての感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「私が『絵本』の言い方で困っているときに、『イラストブック』とアドバイスしてもらえてうれしかった。」</li> </ul>	<p>○ 4年近く通っている学校や付き合いのある級友であるが、特に気に入っている場所について伝え合うことで新たな気付きがあることを確認し、伝え合う意欲や期待感を高められるようにする。</p> <p>○ 前時の表現づくりで仲間と教え合ったり、仲間に相談したりした様子を称賛することで、「前の学習が今日の本番でも生かせそうだ」という安心感や見通しをもつことができるようにする。</p> <p>○ 教師が道案内の悪い例を示すことで、相手が理解しているかを確認めながら道案内する必要性に気付くことができるようにする。</p> <p>○ 最終リハーサルでは、以下のような姿を称賛することで、本番に向けてより自信をもち、自他の表現内容を伝わりやすいものにしようとする意欲が高まるようにする。</p> <p>○ お気に入りの場所について相手に伝わる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなに分かる英語を使う姿</li> <li>ジェスチャーやアイコンタクト等の非言語を使う姿</li> </ul> <p>○ 話し手と聞き手が支え合う姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語が分からないときに教える姿 等</li> </ul> <p>○ 本番でもなかなか英語が出てこなかったり、英語を間違えてしまったりする場合は、表現づくりのときにはどうだったか想起させたり、話し手からの質問や聞き手からのアドバイスを促したりする。</p> <p>○ 代表ペアのやり取りを視聴し、本単元でめざす姿とはどのような姿なのかを全員に共有させることで、これまでの自分や級友の姿と照らし合わせながら、左記の2点についてふりかえることができるようにする。</p> <p>○ 分かりやすい道案内をしたり、お気に入りの場所についての表現を工夫したりする姿や、教え合う姿等を称賛することで、自他のことを改めて考えたり表現したりすることができた心地よさや達成感を味わい、今後の意欲につなげられるようにする。</p>

○ 本時の評価規準

相手に伝わるかを考えながら既習の英語や外来語等を選び、道案内をしたり、お気に入りの場所やその理由を伝え合ったりしようとしている。  
 (態度)【行動観察・記述分析】